

片瀬のぞみだより(10月号)

日本基督教団片瀬教会付属
片瀬のぞみ幼稚園
家庭通信2018. No.18

月主題聖句

『あなたがたは地の塩である』

マタイによる福音書5章13節

片瀬教会牧師 柴 適

秋晴れの澄み渡った空が待ち遠しい10月です。天候不順の毎日でも、こどもたちの活気溢れる一段と逞しくなった園生活に心打たれ微笑まずにはられません。10月の野外行事、運動会や芋ほり遠足などでの成長の姿がとても楽しみです。本格的な秋を迎える時、こどもたちは、心地よい秋晴れのもと、成長した心身を動かし自然や日々の学びを通して、神様が与えてくださる無限の様々な経験を積み重ねてほしいものです。

今月の聖書は、イエス・キリストが山で、数千人の群衆に向かって初めてされた山上の説教の『人間の価値』について語った箇所です。『あなたがたは地の塩である』と主イエスは、

人々に宣言されました。地とは、この世のことで、塩は人々のことを指しています。ヨーロッパの古代社会では『塩』は特に貴重なもので、ギリシヤ人は塩を『神』と呼んだほどです。ローマ人は『塩』について、諺で『太陽と塩ほど役立つものはない』と言ったそうです。塩がいかに当時の人々にとって最重要のものであったかが理解出来ます。『塩』の効用は为什么呢。① 塩味を利かせること ② 腐食を防ぐこと ③ 純潔を連想させることなどです。塩は、自分自身は全く変わらず、しかし、味を良くして相手を喜ばせ、腐食を防いで感謝され、潔い心で身を守る健全な人を表わすしるしです。このような役目をあなたに与えますと主イエスは、宣言されたのです。人は自分のために生きるのではなく、塩と同じように人に役立つために生きなさいと言われたのです。人に喜ばれ、感謝されることは、日々平和、平安で、喜びに満ち溢れた人生を歩んでいるのではないのでしょうか。

今月の主題は『試行錯誤』です。『試行錯誤』とは、『新しい物事をするとき、試みと失敗を繰り返しながら、次第に見通しを立てて解決策や適切な方法を見出していくこと』とあります。先日、ひよこ組のお子さんと共にいる機会がありました。一人の娘が、プラスチックのブロックで、船を完成させていました。『こちらに、これを付けたら』と私が言うと、『自分で出来る』と言って、ブロックの凹凸が入るように一生懸命、何回もやり直して完成させていました。『はい!!船で来たよ』と満足そうに差し出してくれました。『これは何?』と聞くと『煙突』これは『食べる所』と自分の想像の船を完成させた娘のうれしそうな言葉に、神様から、どのお子さんにも個性と自由さと無限の想像の業が与えられていることを知らされました。『これを付けたら』は、私の思い、考えで、自己満足の押し付けです。教師も保護者の皆様も共に、お子様の成長が時間の速さだけに喜ぶのではなく、試行錯誤しながら学び成長して行く過程を吟味、大切にしながら、寄り添い見守って行く関係を大切にして行きたいものです。